

令和6年度 第4回 郡山小学校学校運営協議会（兼学校保健委員会）

実施報告書

1 日 時 令和6年12月5日（金）19：00～20：30

2 場 所 コンピュータ室

3 あいさつ（学校長、委員長）

4 協議内容（学校保健委員会）

（1）保健室利用状況と児童の健康状態について（養護教諭より）

○定期健康診断より

- ・定期健診の結果からは、県平均等と比較し概ね順調な成長が見て取れる。視力については、高学年で視力低下の傾向。ICT機器の学習活動での活用が進む中、視力の維持との両立に向けた発信が課題。

○保健室来室状況

- ・5,10,11月に来室が多かった。内科的利用については、10月「マイコプラズマ肺炎」の流行もあり、体調不良を訴える児童が増加したと思われる。外科的利用については、病院受診につながるケガは概ね昨年同期と同じ状況。今年度の感染症罹患状況は、今日（12月5日）現在インフルエンザ罹患者はなし。マイコプラズマ感染症罹患者が10月以降増加。

○質疑

- ・熱中症症状を訴える児童はいなかったか
⇒特に9月中、先生方がかなり意識をしていたこともあり、危険と思われるケースは少なかった。
- ・保健室に行きやすい環境があることはよいと思う。
- ・児童数が少なくなった割にケガは多いと思われる。安全管理をどのように進めるのかが課題。通学路も地域からの要望に対し改善するとの回答はあるが、なかなか進まない状況。
- ・視力低下について、子どもの斜視も増えている。以前と違い家庭学習等でも一人一台端末を使用するので、家庭で一概に止めるようには言えない。
⇒今の児童は今後もICT機器の使用が当たり前の中で生きていく。大人になってから近視が進む人も増えている。スクリーンタイムの適正管理等、自己管理ができるような指導が必要と考えている。
⇒スマホ依存について、適正利用に向けて大人が知識・情報を持つことが大切。

(2) 講演（学校薬剤師より）

- ・かぜ症状等の症状に対し、「対症療法」と「原因療法」がある。
- ・「抗生物質」の処方を希望する人は多いが、「抗生物質」は細菌性のかぜには効くがウイルス性の症状には効かない。
- ・「薬剤耐性」をもった細菌には、抗生物質は効かない。抗生物質を中途半端に使用すると、耐性菌が体内に残ってしまう。
- ・薬の適切な使い方と併せ予防も大切。ウイルス感染予防に向けては（手洗い・咳エチケット・ワクチン接種）が重要。
- ・手洗いは、せっけんを使い指先や爪の先・指と指の間等隙間を洗うことが大切。

○質疑

- ・手洗いに関わり子どもたちはハンカチ等をいつも持っているか。
⇒「ハンカチ・つめ調べ」を定期的に行っている。
- ・学校の石鹼は固形石鹼だったが、液体石鹼とどちらが良いのか。
⇒学校は、固形石鹼の在庫があるため現在使っている。
- ・蛇口がハンドル式からレバー式に変更になっているが。
⇒コロナ禍の時に蛇口を変更した。
- ・液体石鹼でも固形石鹼でも大差はない。流水でしっかり洗い流すことが大切。
- ・コロナ禍は手指消毒と合わせ手洗いを徹底。しかし、最近意識は低下気味。

5 連絡事項

- 来年度の予定（キッズウィーク・土曜授業）について確認
- 次回開催予定 令和7年1月17日（金）19:00～

6 その他

- ・登校時刻と旗当番時刻の確認
- ・郡山地区でのサル出没情報について
- ・学校再編にかかる校舎改修について
（教育支援課より）
- ・本日頂いた意見については担当部局と情報共有。
- ・今日の講演内容について、感染症や風邪の予防に向け気をつけるべきこと等保護者へ伝えられると良い。
- ・ICT機器の活用に伴う視力低下やスマホ依存等の課題について、何らかの発信ができるとうい。